

人権に関する指導実践記録

第 3 学年 1 組	指導者	今宮 直美	
教科・領域	学活 (2)	単元・題材	友だちすごろくをしよう
目 標 または ねらい		使用教材 ・ 資料 等	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達と仲良くかかわりながら、すごろく遊びを楽しむことができる。 ・ 友達の話を聞き、自分と友達の同じところやちがうところを知り、仲間意識をもつ。 		すごろく板 さいころ	
本時の学習 (実践日 平成27年11月7日土曜日 第2校時)			
学 習 活 動		児童の主な反応・様子	
1 すごろく遊びの仕方を知る。		○ ゴールするのが目的ではなく、友達の話を上手に聞くことや、わかりやすくはなすことに気を付けて行うよう確認する。	
2 すごろく遊びをする。 さいころを振る順番を決め、止まったところの質問に答える。		○ どうしても答えられないところがあれば、1回だけパスすることができるようにする。 ○ 時間に余裕があれば、保護者にも参加してもらおう。	
3 本時の活動を振り返り、気付いたことや考えたことを振り返りカードに書く。		○ 自分のことを友達に伝えた時の気持ち、相手が自分と同じ考えや違うと考えを持っていることを知り、そのことでお互いがさらに仲良くなれるきっかけを見付けたことに注目させる。	
単 元 を 終 え て の 考 察			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 半年間一緒に過ごしてきても、お互いのことを知らないことが多いことに気付いた。質問に対する答えを聞いてから、話が盛り上がることもあった。 ○ 学習参観で2回目は、保護者を交えてすごろくを行った。保護者が自分の子どものことを初めて知ったということもあった。 			